

2018~19年度
国際ロータリーのテーマ



インスピレーションになろう



東京赤坂ロータリークラブ週報
Weekly Report

2018~2019年度クラブテーマ
会長 小林 博茂

「手に届く奉仕、目に見える奉仕」

東京赤坂ロータリークラブ

No. 1470 / 2018. 11. 30

例会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

TeL 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

<http://www.akasakarotary.com/>

● 本日の例会 2018年 11月 30日 通算 1505回 本年度 第 20回

卓話：「なぜ今、田中角栄なのか」 政経調査会 理事長 元内閣総理 大臣田中角栄秘書 朝賀 昭 氏

● 第 1504回 合同例会報告／2018年 11月 16日

出席報告：会員 55名 / 出席 33名 欠席 22名

ゲスト：Mary Scheilder (Leavenworth RC)、菅野谷
信宏(東京蒲田RC) 計 2名 (敬称略)

第3回クラブ協議会

テーマ：「会員増強について」「細則の検討」
「地区からのメール伝達方法について」



会長報告：

- ① レブンワース RC
メアリーさんと
バナー交換



- ② ロータリー財団より
小林会長へ PHF+1
西澤会員へ PHF+4 の
バッチを授与。



小原会員：

11/15 に 2750 地区のジャズ同好会のイベントへ行ってきました。今年は地区で同好会をつくろうということらしいです。楽しい会でしたのでご報告いたします。

奉仕プロジェクト委員会：(藤井(万)委員長)

3/28 赤坂区民センターで「奉仕のつどい」が開催されます。回覧いたしますのでよろしくお願ひ申しげます。

幹事報告：

12/14、3/8 の例会場は変更となります。場所は赤坂インターナショナルになります。

11月 16日 9件 18,000 円 累計 578,000円
多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

小林博茂/金山驍/土屋東一/西澤民夫/藤井万博/熊本誠司/木下京子/高山宇佳/大谷啓子

今後の予定 (対象者 .. 全会員)	日付	開始時間 終了時間	場所	事項	内 容
	12月 7日	12:30 13:30	37F アリエス ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話：株式会社グローバルマネジメント 研究所 代表取締役社長 福住 俊男 氏
	12月 14日	12:30 13:30	赤坂インターナショナル AIR 内 会議室	例 会	卓話：イニシエーションスピーチ 高山 宇佳 氏
	12月 21日	18:00 21:00	B 1 ギャラクシー ANA インターコンチネンタルホテル東京	夜間 例会	忘年家族会 ミルベゼによるステージ (バイオリン、ギターのデュオ)
	12月 28日			休 会	
	1月 4日			休 会	

11月16日 クラブ協議会報告

(日 時) 2018年11月16日(金) 13:10~14:30

(ところ) ANAインターモンチネンタルホテル 地下1階「オーロラ」

(テーマ) 「会員増強について」「細則の検討」「地区からのメール伝達方法について」

司会：金山幹事

1. 小林会長挨拶

本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。クラブ協議会を良いアイデアを出し合って盛り上げていただければと思います。よろしくお願ひ申し上げます。

2. 『会員増強について』(畠中会員増強委員長)

入会の誘いをしているがなかなか上手くいかない。皆さんも同じように感じているのではないか。当クラブの年代別構成をみると若い人を入れていかなくてはいけないと感じるが、年齢が上になってくると若い人とのギャップを感じてくる、そのような中で若い世代を入れるということについて皆様からのお知恵を拝借しシェアできればと思う。

(木下) RLIを受けてきた。早稲田RCでは年に1回、ロータリアンだけではなく誰もが参加できるオープン例会を開いている。そうしたところ女性会員が芋づる式に増えているという話を聞いた。当クラブでも試みてはどうか。

(土屋) 同世代がいるほうが入りやすいのではないか。

(鈴木(康)) ゲストとして来られた方に半年に1回連絡しているとのこと。早稲田RCではオープン例会のときに卓話で知名度の高い方をお呼びしているそうだ。

(畠中) 赤坂RCに入会前にきたときに、とても素晴らしい卓話者がいらして、さすがロータリーと感じたことを思い出した。そういった素晴らしい方と繋がるのがロータリーの魅力でもある。ロータリーに入会前、入会後のビフォーアフターについてはいかがでしょうか。国際大会などに参加するなど、ロータリーの国際性を活かしきれていないように思うがいかがでしょうか。

(大谷) 実際に自分が国際大会など行って自分のテンションを上げることで、人に勧められるとは思うが、私にとって週に一度の例会の壁が高かった。

(熊本) 何をやっているクラブなのか、それを明確にしたほうが良い。赤坂RCは国際大会に多くのメンバーが参加する。木下さんも参加して、こんなに素晴らしいことなら是非多くの方が参加したほうがいいよね、とも話していた。

(畠中) まとめに入らせて頂きますが、オープン例会をやってみてはどうか。赤坂RCのクラブの魅力という観点からは、卓話、国際大会参加の在り方が特徴である。クラブの個性を考えていくと増強につながっているのではないかということだと思う。国際大会などに参加して国際性を出していき会員の増強に繋げていけばと思う。

3. 『細則の検討』 (会計 藤本会員)

理事会で会費の支払い期日について明確にしたほうが良いという話があった。まずは請求書に支払い期日を明記するという話があがった。上期は7月上旬の請求、8月末納期、下期は1月上旬に請求書を送付し、2月末日の納期という案があった。現在細則には明記されていなかったため、記載したほうが良いかどうか検討しようということになった。

(畠中) 細則に入れることにより拘束力を持たせるということでしょうか?

(小林) 拘束力をもたせるという背景には、ロータリークラブでは理事会決定が最高決定機関としており、会費を払わない場合は理事会で退会勧告をすることができるが、期日を明確にしてないことから、(根拠がないことから)なかなか話が進まない。期日を明確にすることで、期日を過ぎたら催促、それでも入金が確認できない場合は理事会で決定できる材料となる。

(村山) はつきりさせることができることはいいことだとは思わない。請求書に明記するのは賛成だが、細則ではつきりさせることはいいことだとは思わない。学校でもそういうことが起こるが曖昧にしている。

(小林) 7年間払っていない会員がいた。その原因は単年度で会計も含め理事が変わったため気付かなかった。なんとなく時間が過ぎるのはよくない。払わない人なりの理由があるが、細則に明記することで納得していただけます。

(土屋) 学校で支払わない人がいるという事実が、他の親御さんへ漏れ伝わり、不公平だという声があがったことがある。社会一般的にも支払い期日を明記している場合がほとんどであるから、明確にしたほうが良いと思う。

(熊本) 国際ロータリーの人頭分担金の支払いについても、7月1日時点の会員数で40日以内に支払うことがルールで、払わない場合は有無をいわさず自動的にクラブが消滅するようになっている。支払いについては、期限を明確にしたほうが良い。毎年毎年の理事会の決定となると、その年その年で変更になる場合がある。慶弔規定についてもそだか、明確にすべきことは細則に記したほうが良いと思う。

(藤本) 理事会で慶弔規定についても入れましょうということになったので、今会長、副会長、幹事で草案を検討しているところです。期日通りに払わない人を即退会というわけではなく、何年も入金のない人から遅れているという根拠を問われたときに、それを示すためにも必要ということだと思います。

4. 『地区からのメール伝達方法について』(小林会長)
運営のことですが、地区からのメールについては、事務局から会長、幹事、各委員会委員長へ配信することにしたい。理由は今まででは会長、幹事で判断をしてから委員長へお送りするという手順になっているが、ワンクッションおくことで委員長へ伝えるまでにロスタイムが生じること、会長幹事で裁ききれない量になっていることからもダイレクトに委員長へも配信したい。

(鈴木) 事務局で振り分け出来るのですか?

(金山) ある程度地区から指定がくる場合もあるが、分からぬ場合はこちらで指示します。

5. 閉会の挨拶 (小林会長)

ロータリーとは何か、という質問がきたとき応えられるものを整理しといたほうがよいのかな、と思う。今日は長い時間ありがとうございました。